佐賀県食肉センター高圧引込改修工事

| 図面番号 | 図面名称 |
|------|-----------|
| E 01 | 特記仕様書その 1 |
| 0 2 | 特記仕様書その 2 |
| 0 3 | 付近見取図・配置図 |
| 0 4 | 高圧引込改修図 |
| 0 5 | 高圧引込撤去図 |

Ⅱ 工事什様書 【備考】 (1) 規約効率は、JEM-TR 245 「汎用インバータの規約効率」 佐賀県食肉センター高圧引込改修工事 特記仕様書 (電気設備) 11 足場その他 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 により算出した値とする。 I 丁事概要 1. 共涌什様 本工事で設置する。 (1) 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(内部仮設足場等(・ (2) 規約効率は、IIS C 4212 「高効率低圧=相かご形誘導電 電気設備工事編) (令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。) 及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気設 多久市 工事場所 外部仮設足場等(・ 種・ 動機」の定格電圧200V、IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動 備工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事 したときの値とする。 編) (令和4年版)」(以下、「標準図」という。)による。 12 形状・寸法等 姿図の形状寸法等は、図面表示と多少相違してもよい。 2. 建物概要 (2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用す 消防法施行会 ただし、監督員の承諾を受けるものとする。 (3) 0.75kW以上の効率は、JIS C 4213「低圧三相かご形誘導電 建物名称 階数 備考 構造 延べ面積(㎡) る。なお、機械設備工事の工事仕様書は (M/01,02) 図、建築工事の工事仕様書は (/) 図による。 別表第一区分 動機ートップランナーモーター」の定格雷圧200V. TP4X. (13)配線本数、管路等 分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配管配線経路、配線太さ、配線本数、 6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合 排出がは対策型建設 機械を使用するものとする かお 排 (3) 出ガス対策型建設機械に代えて、認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、同等の建設機 管径等は、図面と相違しても差しつかえない。 械とみなすものとする。 ただし、監督員の承諾を受けるものとする。 24 接地極 接地極の材料は下表による。なお、設置棒EB (14 a) の長さは1500mm以上 とする。 ※ 排出ガス対策型建設機械とは、指定要項に基づき指定された排出ガス対策型建設機械をいう。 14 金属製電線管の塗装 露出配管は塗装を行う。・屋外・屋外(2. 特記仕様 接地の種類 記号 接地極 (1)項目は、番号に○印のついたものを適用する。 (15) 屋外の支持金物 屋外の支持金物、ボルト及びナットなどは、溶融亜鉛めっき仕上げ又はSUS 1枚以上 EP-0.9(900×900×1.5t) 共同接地 3. 工事種目及び工事科目 (○印の付いたものが対象工事) (2)特記事項のうち複数の項目から選択する事項は、・ に○印の付いたものを適用する。 2本以上 施工範囲別 工事種目 A種接地 6本以上 [事科目 屋外 特記事項 耐震措置 設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・ 2本以上 B種接地 (14 φ L=1500) (1)材料・機材の品質等 (1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の 施工指針2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。 電灯設備 C種接地 6本以上 動力設備 他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるも 1本以上 D種接地 高圧避雷器 雷保護設備 (2) 本工事において別表-1に示す材料を使用する場合の材料・機材等の製造 (1) 設計用水平地震力 雷保護用 業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる 機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 受変電設備 1枚以上 構内交換機用 資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書 なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。 電力貯蔵設備 2本以上 面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載さ 発電設備 電話引込口の保安器用 1本以上 構内情報通信網設備 れているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 設計用標準水平震度(Ks) (14 φ 、L=1500) ①品質及び性能に関する試験データを整理していること。 構内交換設備 耐震安全性の分類 诵信用 1本以上 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 設置場所 機器種別 ・特定の施設 ・一般の施設 情報表示設備 ③安定的な供給が可能であること。 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 映像・音響設備 拡声設備 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 2.0 1.5 1.5 25 呼び線 長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を 誘導支援設備 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 防振支持の機器 2.0 2.0 挿入し、行先表示を行う。 2.0 1.5 屋上及び塔屋 テレビ共同受信設備 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 水横類 1.5 1.5 ・監視カメラ設備 1.5 1.0 1.0 0.6 96 般額の涂生 盤類キャビネットの塗装は、指定色仕上げとする。 機器 (2)環境への配慮 駐車場管制設備 (1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び 中間階 防振支持の機器 1.5 1.5 防犯·入退室管理設備 性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 27 特定建設資材の処理 本工事は「建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律」(平成12 自動火災報知設備 ①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材 0.6 0.6 0.4 年5月31日法律104号)の対象建設工事であり、分別解体、特定建設 MDF パーティクルボード その他木質建材 ユリア樹脂板 中央監視制御装置 地下・1 阱 防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6 資材の再資源化等について適切な処理を行う. 壁紙、接着剤、保温材、緩衝剤、断熱材、塗料、仕上剤は、アセト 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 ただし、工事契約後にやむを得ない事情により予定した条件により難い場 ○ 構内配電線路 改修 アルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料 合は監督職員と協議する。 構内通信線路 で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応 【備考】 分別解体・再資源化等の完了時に、以下の事項を書面にて監督職員に報告 じた材料を使用する。 水槽類には、オイルタンク等を含む。 改修 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量 重要機器は次のものを示す。 ○ 撤去工事 ・受変電機器 ・配、分電盤 ・発電設備 ・直流電源装置 (1) 再資源化等が完了した年月日 仮設工事 が少ない材料を使用する。 ・交流無停電電源装置・交換機・自動火災報知受信機 ③接着剤は、可塑性 (フタル酸ジーn-プチル及びフタル酸ジー2-エ (2) 再生資源化等をした施設の名称及び住所 チルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く) が添加されて (3) 再生資源化等に要した費用 4. 指定部分 有 (工期:令和 年 月 日) 中央監視装置 ・通信総合盤 O # いない材料を使用する。 (対象部分: (一部完成) ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器類は、 (2) 上層階の定義は次による。 分別解体の方法 5. 設備概要 ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、 2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階 工程 作業内容 分別解体の方法 設備方式は、・に○印の付いたものを該当項目とする 発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階 建設設備 建設設備・内装材の取り外し 電灯設備 1 照明器具 非常照明 (・電源内蔵 ・電源別置) 中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。 内装材等 (·有 ·無) 手作業、機械作業の併用 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、 その他の取り壊し 手作業 その他 EPS 設備概要 動力設備 「規制対象外」とは次の①又は②に該当する 材料を指し、同区分「第 暖房 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする 手作業、機械作業の併用 給排水 消化 排煙 三種」とは③又は④に該当する材料を指す。 (4) 重量1kN以下の軽量な機器の耐震支持については、「建築設備耐震設 雷保護設備 棟上げ導体 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び 計・施工指針2014年版」 (独立行政法人建築研究所監修) に準拠ある 特定建設資材廃棄物の種類と再生資源化等をする施設 受変雷設備 第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 いは同等な設計用地震力に耐える方法で設計・施工すること。 1 設備方式 キュービクル式配電盤(既設) • 開放形配電盤 特定建設資材廃棄物の種類 再生資源化等をする施設の名称 所在地 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認 発電設備 発雷機 定を受けた材料 7 地盤変位への対応 想定沈下量 (・小規模 ・中規模 ・大規模) 運転時間()時間 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒ 鉄から成る建設資材 原動機 ド発散建築材料 18 はつり 既存のコンクリート床、壁などの貫通部の穴開けは、図面に特記なき場合、 ・ディーゼル ・ガスタービン ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認 原則としてダイヤモンドカッターによる。 軽油 灯油 太陽電池アレイ公称出力(太陽光発電装置) kW ・ 系統連系 (有/無) 定を受けた材料 なお、図面に特記がある場合、走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告 その他発電装置 構内情報通信網装置 定格出力 () kVA 再生資源利用計画書及び実施書は、建設副産物情報交換システム (コブリ 通信・情報設備 1 ネットワーク管理装置 (3)電気工作物の種類 事業用電気工作物 一般電気工作物 ス) にて作成し提出すること。 ファイヤウォール リピータ (19)撤去後の補修 壁付器具、床置器具、天井付器具撤去後の取付けボルト孔、壁面、天井面の 權内交換裝置 電子交換機 ボタン電話装置 4 電気保安技術者 工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の 変色等は監督員と協議して補修を行う。 (28)発生材の処理等 発生材一時保管、集積場所構内に (⊙有・無) 情報表示装置 マルチサイン装置 情報表示装置 チャイム 職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 引渡しを要するもの (20)電路の保護 時刻表示装置 出退表示装置 受要 不要 図面に特記なき引き下げ又は立ち上げ部分及び露出部分の配線はMM1 (・金属類 ・雷線、ケーブル類 ・蓄電池 ・照明器具) 4 映像・音響装置 映像装置 音響装置 (A型) にて保護する。貫通部分の配線は、金属管などにて保護する。 特別管理産業廢棄物 (5)電気工事士 拡声装置 一般放送用 非常放送用 契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施 (・PCB使用機器・ 6 誘導支援装置 ・音声誘導装置・インターホン・呼出装置 1 昭明器具の接地 コードペンダント以外の放電灯器具、LED照明器具及び水気のある場所の PCB使用機器の有無については、調査を行い結果を監督員に報告する。 白熱灯器具は、接地する。ただし、二重絶縁構造等、接地の省略が可能な · PCB使用機器の取り扱いについては、監督員の指示を受ける。 テレビ共同受信装置 CS 有線 (CATV) 6 工事用電力 ものは、監督員との協議による。 (対地電圧が交流150V以下のLED照明器 発生資源利用物 8 テレビ電波障害防除装置 • 無 本工事に必要な工事用電力、水、及び官公署その他への諸手続などの費用 (・ランプ類 **⊙**電線、ケーブル類 ・ ・ ビデオモニタ ・ タイムラプスVTR 水その他 は、すべて請負業者の負担とする。 具を乾燥した場所に施設する場合は、監督員と協議し省略することができ デジタルレコーダ 引渡しを要するもの及び再生資源化を図るもの以外は、構外適切搬出 10 駐車場管制装置 7 工事用仮設物 管制装置 検知器 信号灯 構内につくることが ○ できる できない 処理とする。 (22) 絶縁抵抗測定 取外し再使用機器及び改修に関わる電路は、性能確認のため絶縁抵抗測定 警報灯 発券機 1 防犯・入退室管理装置・制 (8)監督員事務所 ・ 設ける (号) 29 建設発生土の処理 構内敷きならし 構内指定場所へのたい積 ○ 設けない 制御装置 御装置 再利用を図る 構外搬出 23 インバータ装置の 12 自動火災報知装置 仮設備項目 (・受変電 ・発電 ・図示 三相可変速電動機用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。 P型受信機(既設) · R型受信機 9 仮設備 自動閉鎖装置 防煙ダンパー用 仮設備期間 (・図示 規約効率 分類 受け入れ場所 防火戸用 ・防火シャッター用 搬出距離 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 14 非常警報装置 埋込形 露出形 建設発生土 (10)施工調査 改修標準仕様書によるほか、下記による。 都市ガス用 15 ガス漏れ火災警報装置 ・ 液化石油ガス用 規約効率(%) 86.0 88.5 92.0 93.0 94.0 94.0 94.5 警報盤 ・簡易型監視制御 ・監視制御 事前調杏 (○本丁事 別途工事) 中央監視制御設備 1 方式 上記に示す受け入れ場所・搬出距離は参考であり、実施にあたっては監 調查項目(○既存資料調查 ・ 構内配電線路 1 ふ設方式 架空線式 地中埋込式 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 督員と協議のうえ決定する。 調査範囲及び方法 (・図示 ⊙既存図面調査及び目視調査) 規約効率(%) 94.5 95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 架空線式 地中埋込式 構内通信線路 1 ふ設方式 非破壊検査(費用は別途) 設計変更年月日 佐賀県食肉センター高圧引込改修工事 佐賀県県土整備部建築住宅課 年 月 日 Ε 2 💷 年 月 日 1級建築士 第 01 特記仕様書その1 R年月日

| 30 地中埋設標 | 地中埋設標を設ける。材質個数は図示による。 (・電力用 ・通信用) |
|------------------------|---|
| 31 標識シート | 低圧地中幹線路及び通信地中幹線路にも設ける。 |
| 32 外灯ポール | 外灯ポールは、亜鉛付着量350g/m(JIS H8641「溶融亜鉛めっき」 に規定するHDZ35以上の溶融亜鉛めっきを施したものとする。(エッ チングプライマー、指定色仕上) |
| 33線名札 | 幹線に取付る線名札には、施工年月及び施工業者名を記入する。 |
| 34 ハンドホール内の ケーブル余長 | 建物直近のハンドホールでは、内部でケーブル1巻分の余長を取ること。 |
| 35 機器取付高さ | 図面に特記なき場合は、別表-2による。 |
| 36 他工事または 他工種との工事区分 | 図面に特記なき場合は、別表-3による。 |
| | |
| ○別表-1 | |

| 品目 | 機材等 | 適用 |
|----------------|-------------------|-----------------|
| 照明器具 | LED照明器具(一般屋内用に限る) | |
| | 分電盤 (実験盤を含む) | |
| 盤類 | 制御盤 | |
| 2667月 | 可変速運転用インバータ装置 | |
| | 照明制御装置 | |
| | キュービクル式配電盤 | |
| | 高圧交流遮断器 | |
| | 高低圧変圧器 | (一社) 公共建築協会の |
| 高圧機器 | 高圧進相コンデンサ | 「建築材料・設備機材等品質性能 |
| | 高圧限流ヒューズ | 評価事業設備機材等評価名簿」 |
| | 高圧負荷開閉器 | |
| | 高圧スイッチギア(CW, PW) | |
| 交流無停電電源装置 | | |
| 太陽光発電装置 | パワーコンディショナー及び | |
| 众肠儿光电表直 | 系統連携系保護装置 | |
| 監視カメラ装置 | | |
| 中央監視制御装置 | 監視制御装置 | |

| 0 | Πı | 144 | 0 |
|---|-----|-----|----|
| U | ימ. | 350 | -2 |

| | 名称 | | 測点 | 取付高(mm) | Г | 名称 | | 測点 | 取付高(mm) | | |
|--------|-------------------|-------|-----------|-------------|--------|----------------------------|----------------|------------------|---------------|----------|-----------|
| | 取付用計器 引込開閉器 | | 地上 ~ 窓中心 | 1,500 | | 表示器 | | 床上~ 中心 | 天井高×0.9 | | |
| | | | 床上~ 中心 | 1,500 | | 据付発信 | 92 66 | II . | 1,300 | | |
| | 分電盤、OA盤 | | JI. | 1, 500 | 表示 | ベル・ブ | ザー | " | 1 500- 0 200 | | |
| | 制御盤、実験盤 | Ě | " | (上端1,900以下) | | チャイム | | " | 1,500~2,300 | | |
| 電力 | 開閉器箱 | | 床上~ 中心 | 1, 500 | | 壁付押ボ | タン | " | 1,300 | | |
| | 電磁開閉器用 | 1992日 | ,, | 1, 300 | Г | インター | ホン | " | 1,300 | | |
| | 押ボタン | | " | 1, 500 | | 外部受付 | 用 | II | 標準図による | | |
| | 接地極埋設標 | | 地上 ~ 中心 | 600 | | 壁付位置 | ボッ | ,, | 200- 400 | | |
| | 給油ボックス | | 地上 ~ 給油口 | 1,000 | | クス (一般) | | " | 300~400 | | |
| | スイッチ | | 床上~ 中心 | 1, 300 | 1 | | 親機 | " | 1,300~1,500 | | |
| | 多機能トイレ | | ,, | 1 100 | シタ | | 子機 | " | 1,100~1,500 | | |
| | スイッチ | | " | 1, 100 | | | 呼出 | ,, | 000 | | |
| | | 一般 | " | 300 | ٧ | 多目的 | ボタン | " | 900 | | |
| | | 換気扇 | " | 1,600~2,100 | | トイレ | 復帰 | ,, | 1 000 | | |
| | コンセント | 便所 | " | 500 | | | ボタン | " | 1,800 | | |
| | | エアコン | 天井下 ~ 上端 | 200~300 | | | 表示灯 | II. | 2,000 | | |
| | | 台上 | 台上 ~ 中心 | 150 | | | 親・子 | II. | 1, 100~1, 500 | | |
| 電灯 | | 車庫 | 床上~ 中心 | 800 | | 直列ユニット | | " | 000 | | |
| | | 車椅子 | 天井下 ~ 上端 | 900 | | (一般) | | " | 300 | | |
| | | 出入口 | 床上~ 中心 | 1,500~2,000 | テ | 直列ユニ | ット | | 4.50 | | |
| | | 浴室 | II . | 1,500~2,000 | Ľ, | (和室) | | 11 | 150 | | |
| | ブラケット | 踊り場 | II | 2, 500 | 背 | 機器収容箱 テレビ端子 直列ユニット | | II . | 1,800 | | |
| | | 一般 | II | 2, 100 | 受信 | | | II . | 150~400 | | |
| | | 鏡上 | 鏡上端 ~ 中心 | 150 | | | | /s1 +s | 150 | | |
| | 避難口誘導灯 | • | 床上~ 下端 | 1,500以上 | | (台上) | | 台上 ~ 中心 | 150 | | |
| | 廊下通路誘導灯 | Г | 床上~ 上端 | 1,000以下 | | 機器収容箱 | | 床上~ 中心 | 800~1,500 | | |
| | 手元開閉器 | | 床上~ 中心 | 1,500 | 1 | 発信機 | | II . | 800~1,500 | | |
| 動力 | 操作スイッチ | | 床上~ 中心 | 1, 300 | 1 | 火報受信機 | | rin I del Marden | | | |
| | 警報盤 端子盤 (室内) | | 警報盤 | | 床上~ 中心 | 1,800 | l _é | (複合盤 |) | 床上 ~ 操作部 | 800~1,500 |
| | | | 床下~ 上端 | | | 副受信機 | | 床上~ 中心 | 1,500 | | |
| 椎 | 集合保安器箱 | | 天井下 ~ 上端 | 200 | 災報 | 警報ベル | | 床上~ 上端 | 天井高×0.9 | | |
| 4. | 電話用アウトレット | | 床上~ 中心 | 150~400 | | | | 床上 ~ 中心 | 天井高×0.8 | | |
| 换 | 電話用アウトレット (台上) | | 台上 ~ 中心 | 150 | 備 | 連動制御器 (自動閉鎖) | | II . | 1,500 | | |
| П | 壁掛形親時計 | | 時計 床上~ 中心 | | 1 | ガス漏れ | LPガス | 床上~ 上端 | 300 | | |
| 雷 | 子時計 | | n, | 天井高×0.9 | 1 | 検知器 都市ガス | | 天井面 ~ 中心 | 天井面 -200 | | |
| 120 | 壁掛形スピーカ | J | " | 天井高×0.9 | - | 接地用 | | 床上~ 中心 | 500 | | |
| 双時 | | | | 1, 300 | 1 | 0.2. | | 床上~ 下端 | 800 | | |
| 気時計・拡密 | 壁付アッテネータ 時報子時計 | | " | | | 苗体硬体地用 端子盤 (EPS・電気室) | | | | | |

【備考】 天井高×0.9及び天井高×0.8は、天井高が2,500~3,000mmの場合に適用する。 取付高については、事前に監督員と協議する。

| _ | | I | 事 内容 | | 本工事 | 建築工事 | 機械設 工事 |
|-----------------|--|---|--|-----------|-----|------|-----------|
| | | | | 屋内 | | | - |
| | | | 配電盤・制御盤の基礎 | 屋外 | | | |
| | | | 日に中が近、川戸戸が近くノ公外と | 屋上 | _ | | |
| | | 電気関係 | - 1 12-2 , - 1, three |) 単上 | | | |
| | | | テレビアンテナ基礎 | | | | |
| | | | 避雷針の基礎 | | | | |
| 機器 | の基礎 | | 特記した基礎 | | | | |
| | | | 屋内設備 | | | | |
| | | | 屋上設備(架台、アンカー | ボルトを除く) | | | |
| | | 機械関係 | 屋外設備(" | | | | |
| | | DADADADIN | 架台・アンカーボ・トト | | _ | | |
| | | | | | | | |
| | | | 特記した基礎 | | | | |
| | | 梁、床、壁 | 補強を要するもの | | | | |
| | | 貫通スリーブ | 補強を要しないもの | | | | |
| | | 梁、床、壁 | 補強を要するもの | | | | |
| | | 貫通部型枠 | 補強を要しないもの | | | | |
| | | 軽量鉄骨下地 | 補強を要するもの | | | | |
| | | 壁・天井が一十 | 補強を要しないもの | | | | |
| 開口 | 如 | 類の切込 | (アウトレットボックス) | †除く) | | | |
| ηПЦ | DI) | | | Septe X / | _ | - | _ |
| | | 埋込形分電盤、 | 補強を要するもの | | | | |
| | | 端子盤等の型枠 | 補強を要しないもの | | | | |
| | | 上記開口部の墨出 | L | | | | |
| | | 上記開口部の補強 | | | | | |
| | | スリーブの穴埋め | (型枠の穴埋めを含む) | | | | |
| | | OA フロアー配線器 | | | | | |
| F#V | | - | M 27/4 | | _ | | |
| 点検 | | 床、壁、天井 | n Mederman = 100 A 1 | | + | | |
| _ | 取付ガラリ | | 一の接続用フランジを含む | | | | |
| 点検 | | オイルサービスタ | ンクの防油堤、タンク基礎 | | | | |
| 床下 | 水槽のマン | ホールふた | | | | | |
| ガス | 漏れ検知器 | | | | | | |
| 消火 | 松組込み機 | 器収納箱内配線整理 | 1用端子板 | | | | |
| | 室の排気フ | | 2/12/10/21 (24 | | _ | | |
| 1997 U.V. | 土ツが入し | | | | | | |
| 換気 | 扇 | 本体 | | | | | |
| | | 取付枠 | | | | | |
| 添1 | 4 | 本体(排水トラッ | プ共) | | | | |
| 流し台 水栓 | | | | | | | |
| | | 小工 | | | | | |
| | 槽 | 水庄 | | | | | |
| 浴 | | | | | | | |
| 浴 | 者用便所手 | 摺り | 配線 (接地土) | | | | |
| 浴 | 者用便所手 機器付属0 | 潜り D制御盤以降の配管 | | | | | |
| 浴 | 者用便所手 機器付属の 機器付属の | 習り D制御盤以降の配管 D制御盤への電源供 | 給配管配線 | | | | |
| 浴 | 者用便所手 機器付属の 機器付属の 自動制御盤 | 習り D制御盤以降の配管 D制御盤への電源供 Eと動力盤との電源 | 給配管配線 供給の渡り配管配線 | | | | |
| 浴 | 者用便所手 機器付属の 機器付属の 自動制御盤 自動制御盤 | 習り D制御盤以降の配管 D制御盤への電源供 Eと動力盤との電源 Eと動力盤との操作 | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 | | | | |
| 浴 | 者用便所手 機器付属の 機器付属の 自動制御盤 自動制御盤 | 習り D制御盤以降の配管 D制御盤への電源供 Eと動力盤との電源 | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 | | | | |
| 浴 | 者用便所手機器付属の 機器付属の 自動制御盤 自動制御盤 機器と付属 | 習り D制御盤以降の配管 D制御盤への電源供 Eと動力盤との電源 Eと動力盤との操作 | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配線 | | | | |
| 沿身障 | 者用便所手機器付属の機器付属の自動制御盤 自動制御盤 機器と付属の機器と付属機器と付属の機器と付属 | 習りの制御盤以降の配管の制御盤への電源供 をと動力盤との電源供 をと動力盤との電源 をと動力盤との操作 をと動力盤との操作 をと動力盤との操作 を表する。 | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配線 | | | | |
| 浴身障 | 者用便所手 機器付属の 機器付属の 自動制御盤 自動制御盤 機器と付属 機器と付属 機器と付属 | 習りの制御盤以降の配管の制御盤への電源供 をと動力盤との電源供 をと動力盤との電源 をと動力盤との操作 選操作スイッチ等と 選操作スイッチ等と | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配線 の渡り配管 | | | | |
| 浴身障電気 | 者用便所手 機器付属の 自動制御盤 自動制御盤 機器と付属 機器と付属 機器と付属 機器と付属 | 間り 制御盤以降の配管 制御盤への電源供 をと動力盤との電源 をと動力盤との電源 は操作スイッチ等と | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配線 の渡り配管 込ボックス | - III I | | | |
| 浴身電気配電気配 | 者用便所手 機器付属の 機器付属の 自動制御壁 機器と付原 機器と付 機器と付 機器と付 機器と付 を 機器と付 を 機器と の を 機器と の を を を を を を を を を を を を を を を を を を | 間り 制御盤以降の配管 制御盤への電源供 をと動力盤との電源 をと動力盤との電源 は操作スイッチ等と | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配線 の渡り配管 | 至る | | | |
| 浴身電気配管 | 者用便所手 機器付属の 機器付属の 自動制御盤 機器とと付 機器とと付 機器とと付 機器とと付 機器とと付 履 機器とと で を の の の の の の の の の の の の の の の の の の | 潜り 制御盤以降の配管の 制御盤への電源供 態力盤との電源 変と動力盤との機作 議機作スイッチ等と 機機作スイッチ等と 機機作スイッチ 議機作スイッチ 議機作スイッチの埋 いら連動制御盤を経 | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ポックス て防煙ダンパー及び排煙口に | 至る | | | |
| 浴 身 電気配管配 | 者用便所手 機器付属の 自動制御館 自動制御館 機器とと付属の 機器とと付属を 機器とと付属の 機器とと付属の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | 潜り 制御整以降の配管 助制御整への電源供 とを動力整との最原 とも助力整との操作 基操作スイッチ等と 議操作スイッチ等と 議操作スイッチの埋 が が が が が が が が が が が が が が が が が が が | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙ロド の配管配線 | 至る | | | |
| 浴身電気配管 | 者用便所手 機器付属の 自動制御館 自動制御館 機器とと付属の 機器とと付属を 機器とと付属の 機器とと付属の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | 潜り 制御整以降の配管 助制御整への電源供 とを動力整との最原 とも助力整との操作 基操作スイッチ等と 議操作スイッチ等と 議操作スイッチの埋 が が が が が が が が が が が が が が が が が が が | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ポックス て防煙ダンパー及び排煙口に | ·至る | | | |
| 浴 身 電気配管配 | 者用便所手。 機器付属の 自動制制御生 機器制制制御 機器とととけ付い 機器を配管に を配管に を配管に を を を を を を を の の の の の の の の の の の の | 潜り 制御整以降の配管 シ制御整への電源供 をと動力盤との貴原 と動力盤との操作 基操作スイッチ等と 議操作スイッチ等と 議操作スイッチの埋 議体スイッチの埋 がら連動制御盤を経 が本業間制御盤以降 なび電動シャッタな | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙ロド の配管配線 | | | | |
| 浴 身 電気配管配 | 者用便所手属 機器付属 自動器 という 機器 動制 動物 付 り が り り り り り り り り り り り り り り り り り | 潜り 制御整以降の配管 シ制御整への電源供 をと動力盤との貴原 と動力盤との操作 基操作スイッチ等と 議操作スイッチ等と 議操作スイッチの埋 議体スイッチの埋 がら連動制御盤を経 が本業間制御盤以降 なび電動シャッタな | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙ロド の配管配線 どの制御部への電源供給 | | | | |
| 浴 身 電気配管配 | 者用便所手属 機器付属 自動器 という 機器付属 側側 機器 動動 動力 引 動器 器とと 知 を 知 動 動 動 管配器 中 自 動 動 管配器 中 アア線 が しゅう かんしゅう しゅう かんしゅう はんしゅう かんしゅう かんしゅん かん かんしん かんし | 間り 制御盤以降の配管 制御盤への電源供 をと動力盤との機作 機構作スイッチ等と 機構作スイッチ等と 機構作スイッチの理 が、 が、 は 動か盤との操作 機構をスイッチ等と 機様作スイッチの理 が、 など も が、 など 動か盤との操作 など も が、 など も か は が は が は が は が は が は が は が な と が も が も が は が は が も が も が も が も が も が も | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙ロド の配管配線 どの制御部への電源供給 | | | | |
| 浴 身 電気配管配 | 者用便所手属。機器門所属。個自機器付所属。個自機器開動制持付付付所属。個人的 機器器 医型 | 間り 制御盤以降の配管 制御盤への電源供 をと動力盤との機作 機構作スイッチ等と 機構作スイッチ等と 機構作スイッチの理 が、 が、 は 動か盤との操作 機構をスイッチ等と 機様作スイッチの理 が、 など も が、 など 動か盤との操作 など も が、 など も か は が は が は が は が は が は が は が な と が も が も が は が は が も が も が も が も が も が も | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙ロド の配管配線 どの制御部への電源供給 | | | | |
| 浴 身 電気配管配 | 者機機器制制制とととして (根機器制制制を (根機器) (根機器 (根機器) (根据) (根据) (根据) (根据) (根据) (根据) (根据) (根据 | 潜り 制御整以降の配管 助制御整への電源供 と動力整との電源 とも動力整との操作 基機作スイッチ等と 議機作スイッチの埋 構機作スイッチの埋 が高速動制御整を経 び電動シャッタな なび戦作スイッチ レアスク・アクロサーバース のが表現がある。 のが表現がある。 のが表現がある。 のが表現がある。 のが表現がある。 のがまれる。 のがなる。 のがなる。 のがな。 のがな。 のがなる。 のがなる。 のがなる。 のがな。 の | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙ロド の配管配線 どの制御部への電源供給 | | | | |
| 浴 身 電気配管配 | 者機機の関係である。 一般機能を表している。 一般機能を表している。 一般機能を表している。 一般性質がある。 「我性質がある。 「我性質がある。 「我性質がある。 「我性質がある。」 「我性質がない、我性質がない、我性質がない、我性質がない、我性質がない、我性質がないない、我性質がないないないないないないないないないないないないないないないないないないない | 潜り 制御整以降の配管 助御整公の電源供源 と動力盤との電源供源 とも動力盤との表情 基操作スイッチ等と 議操作スイッチ 基操作スイッチの埋 基操作スイッチの埋 を放ける。 は変数が大いた。 は変数が大いた。 は変数が大いた。 は変数が大いた。 は変数が大いた。 は変数が大いた。 は変数が大いた。 は変数が大いた。 は変数が大いた。 はないた。 はないたのではないた。 はないた。 はないたがはないた。 はないたがないた。 はないたがはないた。 はないたがはないたがはないた。 はないたがはないたがはないたがはないたがはないたがはないためにはないたがはないたがはないたがはないたがはないたがはないたがはないたがはないたが | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙ロド の配管配線 どの制御部への電源供給 | | | | |
| 浴 身 電気配管配 | 者機機の関係である。 一般機能を表している。 一般機能を表している。 一般機能を表している。 一般性質がある。 「我性質がある。 「我性質がある。 「我性質がある。 「我性質がある。」 「我性質がない、我性質がない、我性質がない、我性質がない、我性質がない、我性質がないない、我性質がないないないないないないないないないないないないないないないないないないない | 潜り 制御盤以降の配管 助制御盤以降の配管 別を | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙ロド の配管配線 どの制御部への電源供給 | | | | |
| 浴身電気配管配線 | 者機機器制制制と付付が開発器を設定しています。 自動機機器器制制制と付付が開発器器とといる。 おいまれば 機能器器 といる いっぱい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はい | 語り 制御盤以降の配管 影像と動力盤との機能 機能なイッチ等と 機嫌作スイッチ等と 機嫌作スイッチ は機能なイッチ等と 機様作スイッチの埋 が、な運動制御盤以降な なび職能シャッタな なび機作スイッチ し、大変動制御盤以降な なび機作スイッチ し、大変動制御盤以降な なび機作スイッチ し、大変動制御盤以降な なび機作スイッチ し、大変動制御盤以降な なびを し、大変動制御盤以降な なびを し、大変動制御盤 し、大変動制御盤 し、大変動制御盤 し、大変動制御盤 し、大変動制御盤 し、大変動制御盤 し、大変 し、大変 し、大変 し、大変 し、大変 し、大変 し、大変 し、大変 | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管面線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙口に の配管配線 どの制御部への電源供給 どの制御部と操作スイッチ間 | | | | |
| 浴身電気配管配線 | 者機機の関係である。 一般機能を表している。 一般機能を表している。 一般機能を表している。 一般性性がある。 一般性性がある。 一般性性がある。 一般性がある。 一般性が | 潜り 制御盤以降の配管 助制御盤以降の配管 別を | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管面線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙口に の配管配線 どの制御部への電源供給 どの制御部と操作スイッチ間 | | | | |
| 浴身電気配管配線 | 者機機器制制制と付付が開発器を設定しています。 自動機機器器制制制と付付が開発器器とといる。 おいまれば 機能器器 といる いっぱい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はい | 語り 制御盤以降の配管 影像と動力盤との機能 機能なイッチ等と 機嫌作スイッチ等と 機嫌作スイッチ は機能なイッチ等と 機様作スイッチの埋 が、な運動制御盤以降な なび職能シャッタな なび機作スイッチ し、大変動制御盤以降な なび機作スイッチ し、大変動制御盤以降な なび機作スイッチ し、大変動制御盤以降な なび機作スイッチ し、大変動制御盤以降な なびを し、大変動制御盤以降な なびを し、大変動制御盤 し、大変動制御盤 し、大変動制御盤 し、大変動制御盤 し、大変動制御盤 し、大変動制御盤 し、大変 し、大変 し、大変 し、大変 し、大変 し、大変 し、大変 し、大変 | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙口に の配管配線 どの制御部と操作スイッチ間 | | | | |
| 浴身電気配管配線シス | 者機機器制制制と対対の関係を対しています。 自動器 機機機 機械 医管外侧 自動器 器器 感配 原動 新管 大陸線 後 機 を で 一 を で 一 を で かい 自 自 配 が で が かい 自 自 配 が で が かい | 潜り 制御盤以降の配管の制御盤への電源供 を動力盤との電源供 を動力盤との電源 供 | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管面線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙口に の配管配線 どの制御部への電源供給 どの制御部と操作スイッチ間 | | | | |
| 浴身電気配管配線シス | 者機機器制制制と対対の関係を対しています。 自動器 機機機 機械 医管外侧 自動器 器器 感配 原動 新管 大陸線 後 機 を で 一 を で 一 を で かい 自 自 配 が で が かい 自 自 配 が で が かい | 潜り 制御整以降の配管 制御整への電源供 とも動力盤との電源 とも動力盤との機作 基機作スイッチ等と 機機作スイッチの埋 機能作スイッチの埋 が高動シャッタな なび電動シャッタな なび壊作スイッチ レーズ 及びのかた とどへのを続 ボード・T・バー 歴明ライン設備プ 電気錠及び通電金 | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙口に の配管配線 どの制御部への電源供給 どの制御部と操作スイッチ間 「レート レート | | | | |
| 浴身電気配管配線シス | 者機機器制制制と対対の関係を対しています。 自動器 機機機 機械 医管外侧 自動器 器器 感配 原動 新管 大陸線 後 機 を で 一 を で 一 を で かい 自 自 配 が で が かい 自 自 配 が で が かい | 潜り 制御整以降の配管 かり 制御整な の 電源供源 性別 の 電源 供源 性別 を の 電源 性源 と 動力 整と の 要 を と 動力 整と の 要 を と 動力 整と の チャッチ の ま 機様 作 スイッチ等 と 機様 作 スイッチ 要 を び 電動 シャッタ な ひ で 歌 か シャッタ な ひ で 歌 か キッタ な ひ で ま か と で で 歌 か ド・ | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙口に の配管配線 どの制御部への電源供給 どの制御部と操作スイッチ間 「レート レート | | | | |
| 浴身電気配管配線シス | 者機機器制制制と対対の関係を対しては、自動器を対しては、自動器を対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、 | 潜り 制御盤以降の配管 を動力盤との機作 を動力盤との操作 機能なイッチ等と 機機作スイッチ等と 機機作スイッチの理 機機作スイッチの理 機能作スイッチの理 機能をなるが を は が を を が な び で 電 動が と の を を を と も か を と も か を と も か を と も り を と の た の を を を し の と の を を と の と の を と の と の を と の と の と | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙口に の配管配線 どの制御部への電源供給 どの制御部と操作スイッチ間 「レート レート | | | | |
| 浴身電気配管配線シ電気配管配線 | 者機機の関係を表しています。 一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、 | 潜り 制御整以降の配管 かり 制御整な の 電源供源 性別 の 電源 供源 性別 を の 電源 性源 と 動力 整と の 要 を と 動力 整と の 要 を と 動力 整と の チャッチ の ま 機様 作 スイッチ等 と 機様 作 スイッチ 要 を び 電動 シャッタ な ひ で 歌 か シャッタ な ひ で 歌 か キッタ な ひ で ま か と で で 歌 か ド・ | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙口に の配管配線 どの制御部への電源供給 どの制御部と操作スイッチ間 「レート レート | | | | |
| 浴身電気配管配線シ電気配管配線 | 者機機の関係を表しています。 一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、 | 潜り 制御盤以降の配管 を動力盤との機作 を動力盤との操作 機能なイッチ等と 機機作スイッチ等と 機機作スイッチの理 機機作スイッチの理 機能作スイッチの理 機能をなるが を は が を を が な び で 電 動が と の を を を と も か を と も か を と も か を と も り を と の た の を を を し の と の を を と の と の を と の と の を と の と の と | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙口に の配管配線 どの制御部への電源供給 どの制御部と操作スイッチ間 「レート レート | | | | |
| 浴身電気配管配線 | 者機機の関係を表しています。 一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、 | 潜り 制御盤以降の配管 かり 制御盤 以降の配管 無機 作スイッチ等と 機様 作スイッチ等と 機様 作スイッチ の 連動 制御盤 以降 な 後 | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙口に の配管配線 どの制御部への電源供給 どの制御部と操作スイッチ間 「レート レート | | | | |
| 浴身電気配管配線シ電気配管配線 | 者機機自自機機機機機機應配小自自配防電配別テム錠機関側側が開発を設定している。 おいま おいま かんしょう おいま かんしょう かんしょう おいま かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう おいま かんしょう はんしょう はんしょく はんしん はんしょく はんしょく はんしょく はんしん はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしんしょく はんしん はんしん はんしん はんし | 潜り制御盤以降の配管の制御盤との電源供 を動力盤との操作と をと動力盤との操作と 基機作スイッチ等と 機機作スイッチの埋 機機作スイッチの埋 機機作スイッチの埋 が木装置制御盤と軽 が木装置制御盤と軽 が大変置制のシャッタな なび電動シャッタな なびで動かシャッチ リーズ など、一ド、Tバー 照明ライン設備プ 電気経及び通名とが通常を まず、エー及び制御 大工事 基礎工事 | 給配管配線 供給の渡り配管配線 回路の渡り配管配線 の渡り配管 込ボックス て防煙ダンパー及び排煙口に の配管配線 どの制御部への電源供給 どの制御部と操作スイッチ間 「レート レート | | | | |

他工事との工事区分表 ※全て本工事

| | 設計 | B | 3 | |
|-----|----|---|---|--|
| 1 🛽 | 年 | 月 | 日 | |
| 2 🛽 | 年 | 月 | B | |
| 3 🛽 | 年 | 月 | 日 | |
| | | | | |
| | | | | |

| 工事名 | 佐賀県食肉センター高圧引込改修工事 | 縮尺 | | | | | 佐 | 生賀児 | 県県: | 土整備部 | 部建築住宅課 | 図面番号 | E |
|-----|-------------------|----|---|---|---|---|-----|-----|-----|------|--------|------|---|
| 図面名 | 特記仕様書その2 | 設計 | R | 年 | 月 | В | 1級3 | 建築士 | 第 | | 号 | | / |





